

文部科学省と国立大学附置研究所・センター 個別定例ランチミーティング

第44回 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (2023.6.2)

12:05-12:10(5分) : 研究所・センターの概要

原爆放射線医科学研究所長 東 幸仁

12:10 – 12:25(15分) : 科学研究所におけるアーカイブズの意義

原医研所蔵の被爆資料の紹介

原爆放射線医科学研究所助教 久保田明子

12:25 – 1 2:45(20分) : 質疑応答

研究所の概要

東 幸仁

広島大学原爆放射線医科学研究所・所長



**国立大学法人 広島大学
原爆放射線医科学研究所(原医研)(1961年設置)**



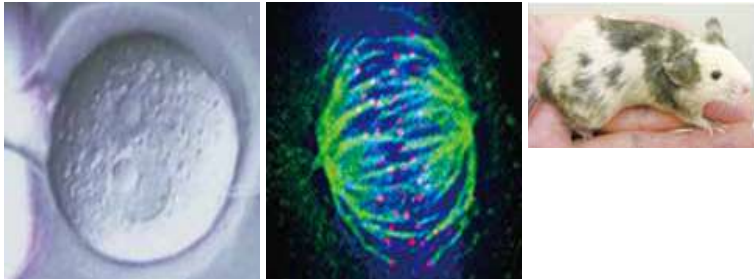
広島大学霞キャンパス、文部科学省

原爆放射線医科学研究所のミッション

原子爆弾その他の放射線による障害の治療および予防に関する学理ならびにその応用の研究



- 放射線生物学
- 放射線医科学の基礎研究



- 原爆被爆者の医療 ● 白血病やがんの治療
- 高線量被ばく者の治療



広島大学放射線災害医療総合支援センターの活動

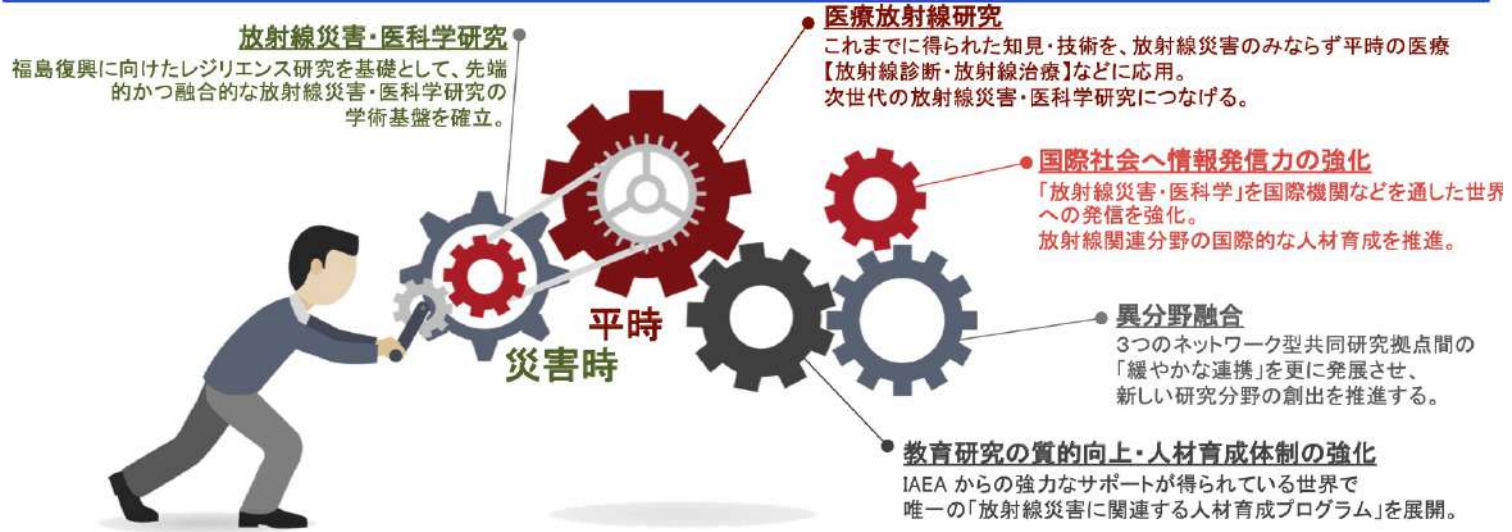


- 被爆関連資料の収集・保存・管理
- 被爆者データベースを用いた研究



広島大学病院での診療活動

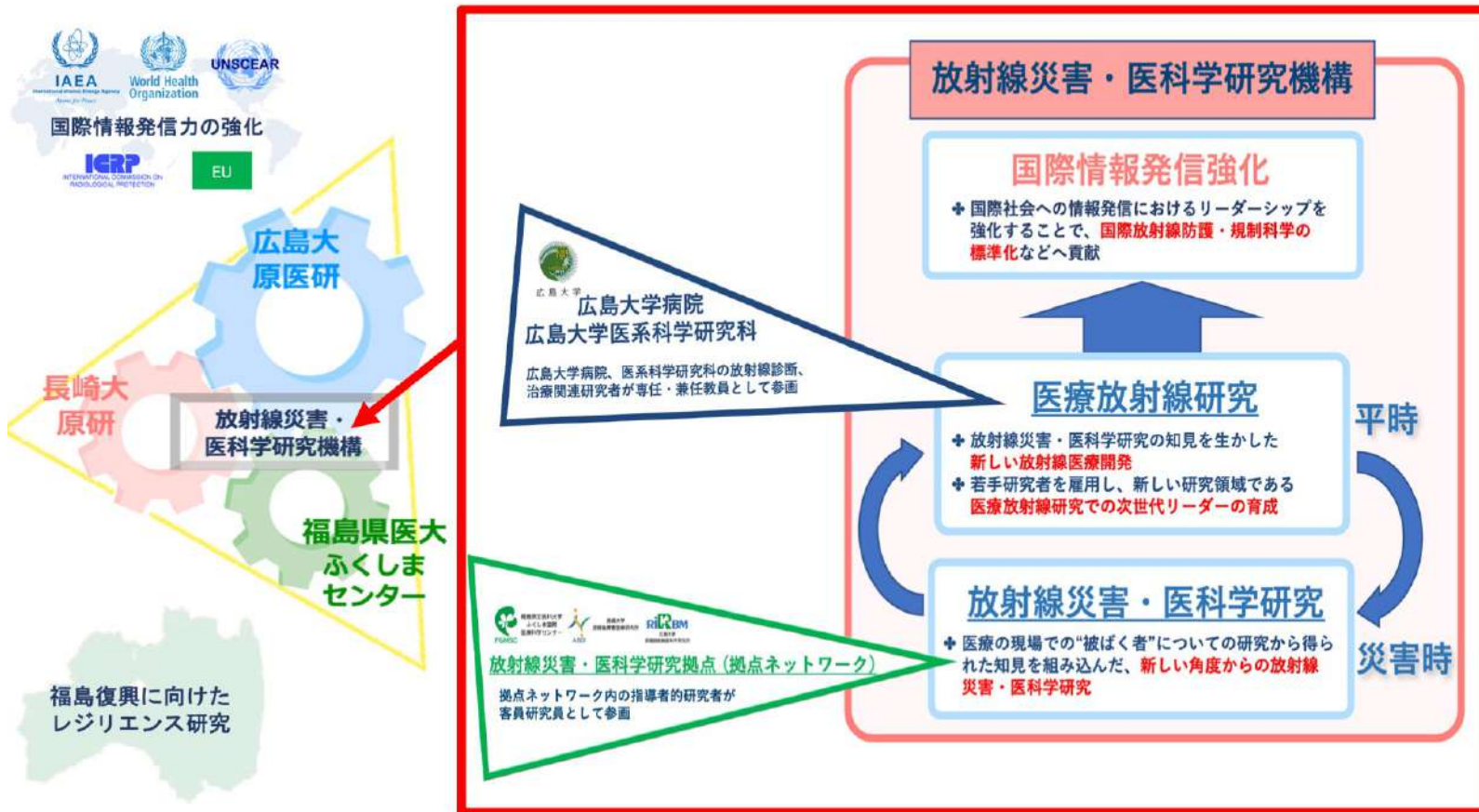
拠点ネットワーク 放射線災害・医科学研究拠点 (2022-2027)



原医研組織改革



放射線災害・医科学研究機構



原爆放射線医科学研究所の研究室

放射線影響評価部門(基礎研究)

研究分野	統計・疫学	白木 信治	放射線疫学、原爆被曝者、健康
計量生物	放射線物理		解析
線量測定評価	放射線生物学		線量測定評価、福島県
分子疫学	放射線生物学		放射線生物学
幹細胞	幹細胞、顕微鏡技術開発	渡邊朋信	光学イメージング、iPS細胞、放射線
細胞	幹細胞、顕微鏡技術開発	田代 聡	放射線生物学

放射線医学研究部門(橋渡し研究)

研究分野	免疫学、動物実験	教授	研究キー	実験動物	遺伝子改変、体細胞
放射線ゲノム疾患	放射線遺伝学	松浦伸也	遺伝医学	一次繊毛	細胞
がん分子病態	放射線遺伝学		放射線生物学、放射線発がん		
分子発がん	放射線遺伝学		放射線生物学、放射線発がん		

放射線災害医療研究部門(臨床研究)

研究分野	緊急被ばく医療	教授	研究キー	医療・緊急被ばく医療	血液・腫瘍
放射線	緊急被ばく医療	一戸 辰夫	造血幹細胞移植、養子	オインフォマティクス	腫瘍
血液・腫瘍	緊急被ばく医療	岡田 守人	造血幹細胞移植、養子	オインフォマティクス	腫瘍
腫瘍外科	緊急被ばく医療		造血幹細胞移植、養子	オインフォマティクス	腫瘍
再生医療、血管内科	緊急被ばく医療		造血幹細胞移植、養子	オインフォマティクス	腫瘍

附属被ばく資料調査解析部

部長 神沼 修

附属放射線先端医学実験施設(所内措置)

施設長 吉永 信治

白血病、骨髄移植

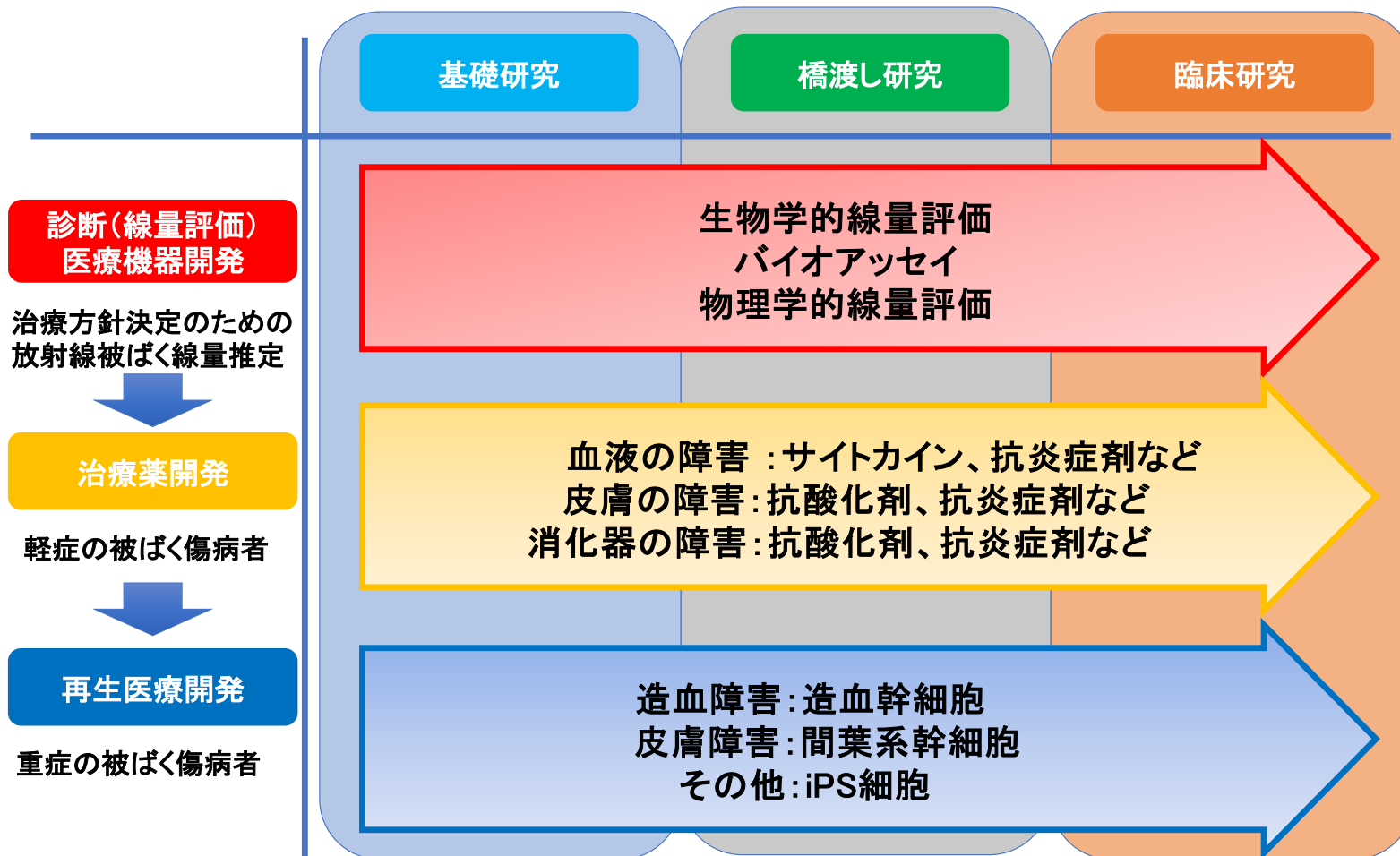
肺がんの外科手術

再生医療、血管内科

放射線災害に備えるために

- **社会安全の確保**
 - 水、食糧、交通、流通の確保
 - 放射性物質の検出
- **医療体制の整備**
 - 放射線被ばく傷病者に対する災害医療体制
 - 災害医療チーム(DMAT)との連携
- **医療開発**
 - 診断法、治療法の開発

核の脅威に対応する医療開発



被ばく事故対応、医療放射線被ばくの管理などにも応用可能

ご清聴、ありがとうございます

文部科学省と国立大学附置研究所・センター
個別定例ランチミーティング
第44回 広島大学 原爆放射線医科学研究所
2023年6月2日（金）

科学研究所における アーカイブズの意義

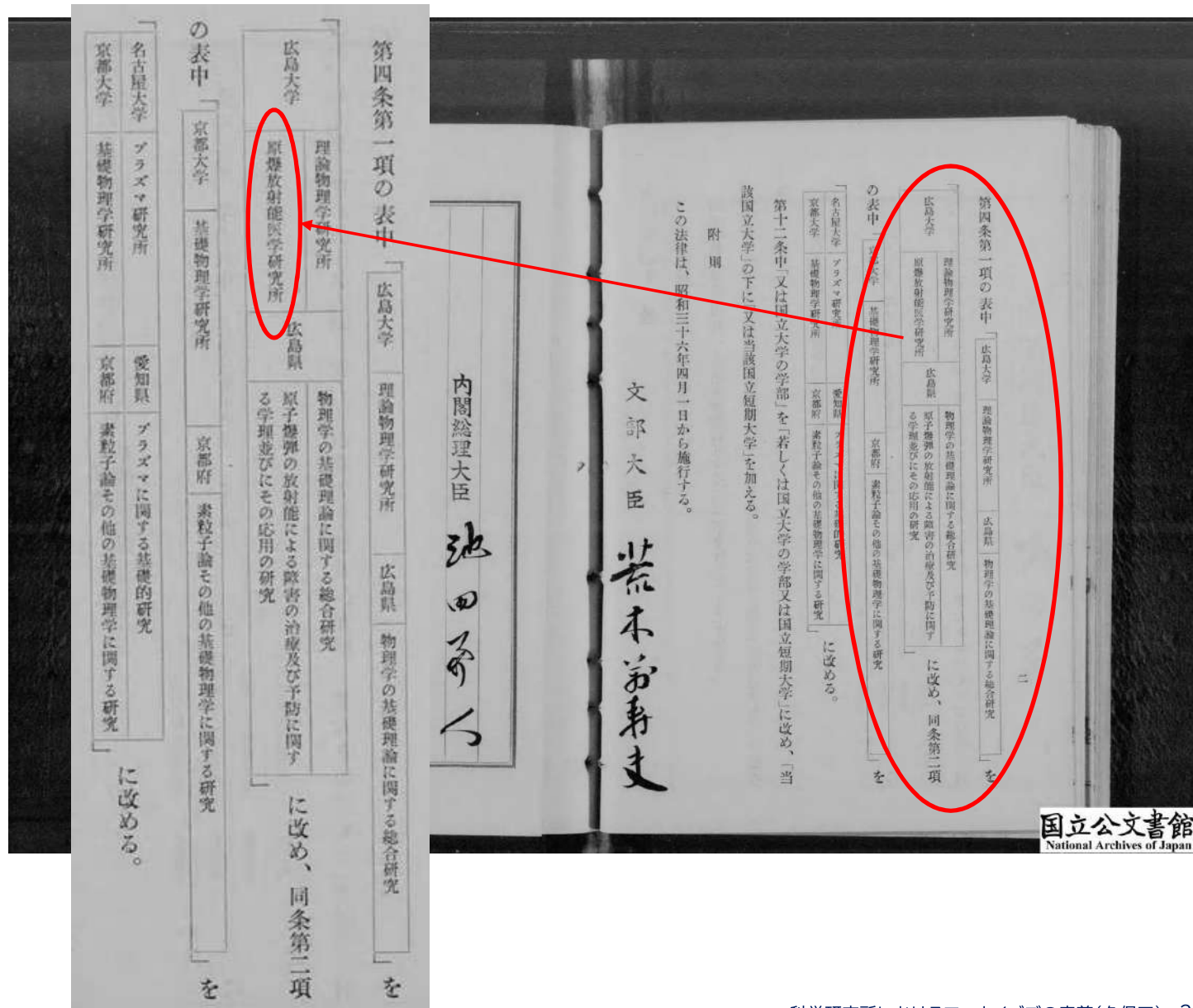
原医研所蔵の被爆資料の紹介



久保田明子
広島大学 原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

原医研、附置研究所に

内閣総理大臣官房総務課
 国立学校設置法の一部を改正する法律
 御署名原本・昭和三十六年・第三卷・法律第四一
 1961(昭和36)年3月31日
 (国立公文書館デジタルアーカイブズより)



戦後の広島大学医学部と原医研設立

西暦	和暦	できごと
1945	昭和20	2月、 広島県立医学専門学校 設置認可 8月5日、 広島県立医学専門学校開校式 8月6日、広島原爆投下
1948	昭和23	4月、 広島県立医科大学 (旧制・呉市阿賀町)開学
1949	昭和24	広島大学 設置
1953	昭和28	8月、医学部(医学科)設置(昭和28法律第88号)
1957	昭和32	2月8日、医学部が現在の 霞キャンパス に移転
1958	昭和33	4月、医学部に 附属原子放射能基礎医学研究施設 設置(昭和33省令第7号)
1961	昭和36	4月、医学部附属病院に 診療科「(原爆放射能医学研究所)内科」 増設 原爆放射能医学研究所 設置(昭和36法律第41号) ⇒研究部門「障害基礎」,「病理学・癌」,「疫学・社会医学」,「 臨床第一(内科) 」が置かれた。
1962	昭和37	4月、原爆放射能医学研究所に研究部門「血液学」,「遺伝学・優生学」,「化学療法・生化学」,「 臨床第二(外科) 」増設



“3号館”の原医研

▶赤レンガ建造物…陸軍兵器補給廠



広島大学原爆放射能医学研究所臨床第一(内科)研究部門(1988)
『開講30周年記念誌』より

1. 自己紹介①経歴

➤大学の学部と修士課程で

➤その後、大学の歴史学の教

➤思い立って、**アーカイブズ学**の博士課程へ入学（社会人学生）（2012年度）

➤テーマ変遷...（地方文書（明治以降））→①**寄生虫**（感染症）→②**物理学**
→③**精神病**→④いろいろ（研究機関所蔵資料／**遺伝学**）→**原爆関係**

➤テーマ... **科学研究の歴史的資料（科学史資料）のアーカイブズ学研究**

➤2015年7月より現職（助教）、現在に至る

【現在】 アーキビスト、資料の調査研究、歴史研究（科学史研究）

【信条】 社会を意識しない科学研究はこの世に不要

* 公文書（国や県、市などで作成される文書類）や企業などの組織・機関、あるいは個人で作成される文書などの記録を、どのように管理し、保存・活用をするか、ということの研究・実践する学問。

「記録を守り 記憶を伝える」

1. 自己紹介②これまでの主な調査

a. 科学史外

国文学研究資料館での古文書（史料情報共有化DB）

山梨県大月市星野家文書調査（近世・近代文書）

b. 科学史

医学... 長崎大学熱帯医学研究所、京都府立医科大学、総合地球学研究所、目黒寄生虫館、感染症研究所／岡山大学医学部医学資料室、京都大学医学部資料／広島大学医学部、広島大学原医研／国立精神・神経医療研究センター（NCNP）、慶應義塾大学鈴木晃仁先生研究室／国立遺伝学研究所

物理学... 名古屋大学（関戸弥太郎資料）、京都大学（荒勝文策資料）

“社会を意識しない科学研究はこの世に不要”

- Atomic bomb survivors' Medical Data grows, continue and inherit from Atomic bomb dropping to present, to future.
- “New perspectives on old investigations might turn out to be promising routes to radical research.”

Giles Gasper, Hannah Smithson, Tom McLeish. The next scientific breakthrough could come from the history books. “The Conversation” March 2, 2017 1.09am AEDT

- Science without social consciousness is **unnecessary** in this world.

社会から意識される科学

“Health Physics”、サブタイトルが“The Radiation **Protection** Journal”だったのに、1998年にThe Radiation **Safety** Journalに変わってるんだけど！！どうのこと？？

KA

いやあ、もう想像通りの理由だと思いますー・・・
雑誌・学会名が**Eugenics**だったのが、**Sociobiology**に変わったのに比べればかわいいものでは・・・

IK

原爆被爆資料をめぐる現況

▼広島における原爆医学(被爆者医療)に関する医学研究所(放射線影響の医学の研究所)の資料について

- A: **行政**(広島県、広島市、あるいは厚生労働省)との協力体制 *文部科学省
- B: **医療分野の組織**(県医師会、市医師会、HICARE、IPPNW、あるいは長崎)との協力体制
- C: **研究所**での取り組み…原医研と放射線影響研究所の共同でのアーカイブズプロジェクト

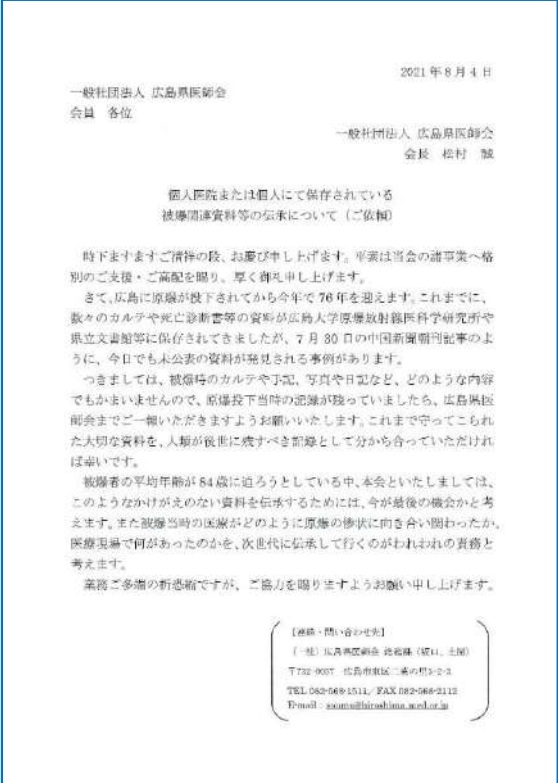
A: 広島市



- (1) **原対協(広島原爆対策協議会)資料**
- (2) **広島市原爆被爆者動態調査データベースの調査票原本**

B: 広島県医師会

- (1) **県医師会**の主導による県内個人医院の資料の収集と整理
- (2) **HICARE**(放射線被曝者医療国際協力推進協議会)での動き
- (3) **IPPNW**(核戦争防止国際医師会議)での動き



C:放射線影響研究所と原爆放射線医科学研究所の アーカイブズプロジェクト

放射線影響研究所

[図書資料課管理]

図書・文献・歴史的資料

1940年代～現在

[その他、未調査・未収集資料]

組織資料（歴史的文書等）

1940年代～現在

原爆放射線医科学研究所

[附属被ばく資料調査解析部管理]

図書・文献・歴史的資料

1950年代～現在

[その他、未調査・未収集資料]

組織資料（歴史的文書等）

1950年代～現在

RERF-RIRBM アーカイブズコンソーシアム

特色1▶科学研究所ではない部分も含む科学研究所のアーカイブズ事業

特色2▶原爆（放射線被災）に関する歴史的な研究所資料の社会発信

特色3▶デジタルアーカイブズの構築と運営

- ・研究所自身による整備
- ・歴史的な記録(研究所運営文書等)も対象
- ・バイオサンプルは別(関連付けはする予定)

・被爆地・広島に設立された2つの原爆被爆(放射線被災の人体影響)の医学研究所のリソースの情報の共有化

- ・これまでの研究所による原爆被爆医学調査を大きくとらえられるようになる
- ⇒放影研…コホート研究
- ⇒原医研…固有研究

A. Kubota et al(2020) Atomic Bomb Survivor Studies and their Current Significance

被爆資料の収集と活用：社会発信、社会教育

広島県医師会
被爆伝承
 コーナー 開設

令和4年8月4日オープン

会場 広島県医師会館 1階

期間 常設展示 平日9:00~17:00
 土・日・祝日閉館

展示 被爆者の死亡診断書、カルテ、
 被爆瓦、手記等



■ カルテ

■ 被爆瓦

■ 被爆者の死亡診断書

主催：広島県医師会 協力：広島大学原爆放射線医科学研究所 / 広島平和記念資料館
 問合せ：広島県医師会 総務課 TEL 082-568-1511

2022年度 広島大学原爆放射線医科学研究所 資料展示

**被爆者を
生き抜く**

【新着資料紹介】
 資料から見えてくる
児玉 光雄 さん

児玉 光雄 1932年広島県尾道市生まれ。1945年8月6日 広島県立
 広島第一中學校にて被爆。20年経過後に心臓病を患い、療養を続け、考
 え、生き延びた。2020年現在。

写真：児玉 光雄 さん



2023年 **3月10日** 金 ~ **5月26日** 金

【期間】 2023年 **3月10日** 金 ~ **5月26日** 金

【会場】 **広島大学医学部
 医学資料館**
 広島大学西キャンパス（大学病院前）

【主催】 広島大学原爆放射線医科学研究所
 【共催】 放射線災害・医科学研究拠点
 （広島大学・長崎大学・福岡県立医科大学）
 【協力】 広島大学医学部
 【企画・製作】 広島大学原爆放射線医科学研究所
 附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】
 新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
 あらかじめご了承ください。

問い合わせ ☎082-257-5877 / kohosha@hiroshima-u.ac.jp 解析部事務

平和宣言 ことばの 歴史

広島市の平和宣言
アニメーションで見る 6

【概要】2016年まで69回分ある平和宣言の統計学的に分析し（テキスト・マイニング）、それアニメーションにしたものを展示します。例えば、皆さな記念すべき年に語られた平和宣言はどんな言葉うに使われたのか、ということがわかります。

2016年 10/4(火)~1

広島大学医学部

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附
展示協力 広島大学原爆放射線医科学研

爆心地から 生きる

—近路

2017年

共催
企

病理学者、 原子野をゆく

—広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—

(広島大学医学部所蔵資料および原爆放射線医科学研究所所蔵資料より)

※当時の玉川は広島大学医学部の前身である広島医学専門学校の教授でした。

2018年

8/3(金)~9/20(木)

広島大学医学部医学資料館

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日・夏季休館日閉館)
広島大学基キャンパス(大学病院前)

※入場無料

特別協力 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室

共催 広島大学原爆放射線医科学研究所・広島大学医学部

放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

背景写真: 湯崎館資料 (広島大学原爆放射線医科学研究所蔵)

*展示問い合わせ TEL: 082-257-5877 附属被ばく資料調査解析部

ヒロシマ いど 挑む

原爆投下の広島で実相究明
医学者たちの始動期の軌跡
—広島大学医学部および原爆放射線医科学研究所



<特別展示> 秀敬氏

1945年10月より広島文理科大学（現・広島大学）に在籍し、被爆地に入って調査を行ったが、その功績が秀敬氏（のち広島大学名誉教授）であった。彼の功績を推定を検討するのに不可欠であった。今回、医学部が挑む姿の1つとして、この秀氏の調査ノートをご紹介します。

2019年 **8/5**月～**9/14**日
広島大学医学部
10：00～16：00（土曜日・日曜日・祝日・夏季休暇日閉館）

協力 広島大学医学部 広島大学文書館 広島大学
共催 広島大学原爆放射線医科学研究所 広島大学
放射線災害・医科学研究拠点（広島大学・長崎大学）
企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく

2020年度 資料展示

被爆75年 医学部75年 原爆

広島大学

原医研の60年

所蔵資料から見る原爆放射線医科学研究所の歩み



在りし日の原医研
以前は、現在の大学病院、YHRCミュージアムの近くにありました。

RESEARCH INSTITUTE FOR NUCLEAR MEDICINE AND BIOLOGY, HIROSHIMA UNIVERSITY
Kasumi-1-2-3, Minami-ku, Hiroshima 734, Japan Telephone: Hiroshima (082) 257-5111

会期延長

【期間】2021年 **3月26**日金～**5月14**日金
10：00～16：00（土曜日・日曜日・初日3/26のみ13：00～16：00）

入場無料

【会場】
**広島大学医学部
医学資料館**
広島大学西キャンパス（大学病院前）

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所
共催 放射線災害・医科学研究拠点（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）
協力 広島大学医学部
企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】新型コロナウイルスの流行状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。あらかじめご了承ください。
【来場方法】新型コロナウイルス流行状況対応のため、お手数ですが、事前に右記電話番号にご連絡ください。

事前予約 ☎082-257-5877

2021年度 資料展示

赤レンガの 医学資料館



陸軍兵器補給廠だった
医学資料館で見る
広島とヒロシマの
医学史



【期間】2022年 **2月21**日土～**5月13**日金

入場無料
事前予約制

4月より展示一部リニューアル

会期延長になりました

10：00～16：00（土曜日・日曜日・祝日閉館）

【会場】

**広島大学医学部
医学資料館**
広島大学西キャンパス（大学病院前）

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所
共催 放射線災害・医科学研究拠点（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）
協力 広島大学医学部
企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。あらかじめご了承ください。

【来場方法】事前予約制とさせていただきます。お手数ですが、事前にQRコードが下記連絡先までご連絡ください。
【予約時の必要事項】①代表者のお名前 ②參觀希望日時 ③人数 ④連絡先メールアドレス ⑤ご連絡先電話番号

事前予約・問い合わせ ☎082-257-5877 / kohosha@hiroshima-u.ac.jp 解析部事務



原爆アーカイブズの必要性

1. 被爆者の皆さん、関係者の皆さんの相談窓口がない
→残したいと思われている資料が残しきれない現状
2. 被爆者の多くの皆さんが残したいと思うのは広島平和記念資料館(NHKのアンケート)
→遺族、子孫が「私」に会いに来られる場所
→何らかの形での公開(社会発信)が可能な場
3. 広島平和記念資料館の書庫は、もうそろそろいっぱい
→スペースの問題／管理の問題／対応(閲覧・活用)の問題
→平和記念資料館は博物館→文書館(アーカイブズ)ではない

原爆アーカイブズは広島に必要

原爆に関連する

広島平和記念資料館

原爆関連の文書館

“第2の広島平和記念資料館”

モノ資料

文書資料

原医研
解析部

博物館、美術館、
郷土資料館など

広島市公文書館

原爆に関連しない

専門性が高い収集

医療…被爆者のカルテなど
→開業医の個人蔵

原爆関連
医療・医学専門
アーカイブズ

広島平和記念資料館

原爆関連の文書館
“第2の広島平和記念資料館”

機関での生成

個人での生成

例. 被爆体験の手記

広島市公文書館

専門に特化しない収集

ABA構想(私の妄想)

ABA:
Atomic Bomb Archives
原爆アーカイブズ

陸軍被服支廠(被爆建物)で考えてみる

ABA構

At

es



ABA構想(私の妄想)

・障がい者雇用 ・大久野島の資料も一緒に
・「赤レンガ巡り」…広島近代史、軍都広島
宇品港→郷土資料館→被服支廠→広大医学資料館→広島平和記念資料館

大会議室

- ・国際会議、学会
- ・市民活動、集会
- ・講演会、サークル活動

※賃料を取る

小会議室

レストラン・お土産

- ・洋:アンデルセン?
- ・和:酔心?かなわ?
- ・もみじ饅頭食べ比べ
- ・ロビー

※賃料を取る

複数の会議室

- ・勉強会、研究会
- ・市民活動、集会
- ・勉強会、サークル活動

※賃料を取る

カフェ・コンビニ

- ・和:むさし?お好み?
- ・洋:美味しいパン?
- ・コンビニ
- ・休憩室(飲食OK)

※賃料を取る

アーカイブズ(開放)

- ・資料収蔵庫
- ・資料閲覧室
- ・PC利用席
- ・関連図書室
- ・目録室

資料展示室

コピー・印刷・製本

- ・キンコース

※賃料を取る

資料展示室

アーカイブズ

- ・資料収蔵庫
- ・資料整備作業室
- ・資料調査室
- ・研究室

※データサーバー

事務局

- ・事務室
- ・会議室、応接室
- ・資料調査室、目録室
- ・研究室

原爆関連の文書館

“第2の広島平和記念資料館”



旧陸軍被服支廠(被爆建物)

(別館)被ばく関連 医療・医学アーカイブズ



放射線影響研究所(ABCC)

山崎文男のことば

➤「〔座談会〕被ばく資料の収集が急務」『中国新聞』（1967年、月日不明）での発言

山崎文男（1907～1981）：原子核物理学者、1945年8月末より広島に入り放射線測定調査等を行う（新聞掲載時） 学術会議原子力特別委員会委員、理化学研究所主任研究員

「（原爆被ばく資料のセンター設立の問題について…引用者註）資料センターを生かすも殺すも、私は人の問題だと思う。熱意のある人がいなければ、資料収集などという仕事はとても進むものではない。**“ムシ”みた**
いな人がいなければだめだ。お役所のような機構で、義務的に仕事をしているというのでは、とても出来るものではない。」

→ムシになりたい